

平成16年の脳神経外科

脳神経外科医長 徳光 直樹

診療状況

平成12年10月以来診療体制に変化なく、佐古院長、相澤救急医長、白井と徳光の計4名で行っております。

外来診療も平成15年と同様で月曜～金曜の午前中を2診制で、月・水・金曜午後は脳ドックを開催しております。

入院病棟は3階東に27床と2階西亜急性期病床(最大8床)で運営し、平成16年の一般病床入院患者数は522名・亜急性期病床25名でした。過去の入院患者数は11年が369名、12年448名、13年502名、14年492名、15年472名で、ここ数年では最高値を示しました。入院患者中313名(60.6%)が急性期脳卒中、未破裂脳動脈瘤14例(2.7%)、頭部外傷87例(16.7%)、脳腫瘍15例(2.9%)、検査入院37例(7.1%)でした。これらの患者数に数年大きな変化はなく、当科守備範囲(上川北部・南宗谷)の人口を考慮すると、将来的にもほぼ安定した数値か

と考えられます。ただ平成16年の入院数増加の背景には、(もちろん当科だけのことではありませんが)やはり循環器・呼吸器内科撤退以降の高齢者の入院適応の拡大(社会的入院・いわゆる老衰など)が大きく関与しているものと思われます。

手術総数は140件で、前年比3件減でした。おもな手術の内訳は以下の通りです。

おわりに

平成17年1月現在で当科入院患者数は4西病棟の空床利用患者を含め50名以上を数えております。患者層が後遺障害を伴う高齢者慢性疾患であること、地域に後方支援医療施設が不足していることを考えると、一度膨れあがった入院患者数を短期間で減少させるのは非常に困難と予想されます。今後も各病棟への空床利用など何かとご迷惑をおかけすることと思いますが、何とぞご理解・ご協力の程お願い申し上げます。

総数 140件 (定期手術：58件、臨時手術：82件)

脳動脈瘤	35件	脳腫瘍摘出術	11件
開頭・clipping	32件	微小神経血管減圧術	2例
coil塞栓	3件	開頭血腫除去術	10件
血行再建術	12件	慢性硬膜下血腫穿頭術	32件
EC-ICバイパス	0件	水頭症手術	12件
CEA	3件	頭蓋形成術	12件
PTA(PTR)	9件	減圧開頭術	4例
頸動脈stent	1件	脳室ドレナージ術	4例